

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36884
事業名	私立保育所整備等補助金					
評価担当課	所 属	子)子育て支援 保育推進課			電話番号	211-2346
施策名	多様なニーズに応じた保育サービスや、児童が放課後に過ごす安全					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	本市においては、これまで、「市町村子ども・子育て支援事業計画」として位置付けている「第4次さっぽろ子ども未来プラン 第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業に関する需給計画」に基づき、保育所等の施設整備による保育の供給量確保に取り組んできたところ。 施設整備による保育定員の拡大により、全市的な保育の供給量は充足しつつあることから、令和5年度以降においては、これまで保育の受け皿確保の中心的な手法として行ってきた新設整備は、保育ニーズの変化や地域の需給状況を詳細に見極めた上で、限定的に実施するとともに、既存施設を活用した受け皿の確保に重点を置いて整備等を行っている。
	事業内容 (何を実施し)	【目的】 私立保育所の整備により必要な保育の受け皿を確保するとともに、老朽化した施設を更新して耐震機能を向上させ、安全な保育環境を確保する。 【内容】 私立認可保育所を設置する法人に対する、必要な整備費の補助 ①新築:1件 ②増改築:3件 ③賃貸物件による創設:1件 【結果】 以下のとおり、必要な整備費の補助を実施した。 ①新築:2件 ②賃貸物件による創設:1件
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	保育のニーズ量に対して必要な供給量を確保し、「待機児童0人」の状態を継続する。
	他都市の状況	「第4次さっぽろ子ども未来プラン」の需給計画は子ども・子育て支援法の規定により策定する「子ども・子育て支援事業計画」として位置づけられており、全国一律の制度である。
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	79,282 千円	うち特定財源	62,596 千円	正規職員業務量	2 人工
令和5年度予算額	873,000 千円	うち特定財源	828,860 千円	正規職員業務量	2 人工
令和5年度決算額	376,112 千円	うち特定財源	345,858 千円	正規職員業務量	2 人工
令和6年度予算額	2,261,000 千円	うち特定財源	1,791,247 千円	正規職員業務量	2 人工

指標	アウトプット 活動指標1	私立保育所等の整備件数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		10件	11件	6件	7件	6件	5件
	↓						
	アウトカム 成果指標1	待機児童数(こども家庭庁への報告数、翌年4/1)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	事業者の応募が想定より少なかったため、活動指標は目標を下回ったが、成果指標は目標を達成することができた。引き続き、必要な保育の受け皿を確保することで、待機児童0人の状態を継続する。					
	アウトプット 活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム 成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	保育定員増を伴う増改築整備は、事業者にとって応募のハードルが高く、実績が目標を下回った。R6年度から定員増を伴わない改築整備を新たに実施することで、整備事業者の応募につなげていく。
来年度以降の方向性	次年度以降においては、保育定員の増加を伴わない改築整備を実施することで、引き続き、老朽化施設の更新及び既存施設を活用した整備を進めていく。 ※ 令和6年度から、私立保育所等整備事業と認定こども園整備事業を事業統合している。